



平成24年4月18日（水）
利根川水系渇水対策連絡協議会
（事務局：関東地方整備局）

記者発表資料

平成24年度 第1回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会 （春季定例会）の開催結果について

『利根川上流ダム群の貯水量はほぼ平年並』 利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会春季定例会開催される

- 開催状況 日時：平成24年4月17日（火）14:00～15:00
場所：さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 災害対策本部室
協議会構成：国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、
農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、
群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構
協議会の目的：利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。
- 現状と今後の見通し（詳細は、別添概要書参照）
 - ・ダムの貯水状況 利根川上流8ダムでは平年をやや下回る貯水量
(3億1,245万³m)
 - 鬼怒川上流3ダムでは平年をやや下回る貯水量
(1億4,940万³m)
 - ・積雪の状況 奈良俣ダム地点の積雪深は、平年を上回る101cm
(平年比177%)
 - 尾瀬沼地点の積雪深は、平年を上回る228cm
(平年比112%)
 - ・今後の見通し 今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足することも想定されます。
- 今後の対策（詳細は、別添概要書参照）
 - ・ダム等水資源開発施設については、きめ細かな水運用を行っていく。
 - ・必要に応じて、節水協力の要請と取水制限等の機動的な対応を行っていく。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ

問い合わせ先

国土交通省	河川部水政課	住所	〒330-9724
関東地方整備局	小池 勇 (内線) 3515		埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
水政調整官	小池 勇 (内線) 3515		さいたま新都心合同庁舎2号館
水政課長	澤田 晋 (内線) 3551	電話（代 表）	048-601-3151
建設専門官	一條 勝志 (内線) 3557	（水政課夜間直通）	048-600-1334
	河川部河川環境課	（河川環境課夜間直通）	048-600-1336
河川環境課長	向井 正大 (内線) 3651		
建設専門官	吉川 宏治 (内線) 3652		

平成24年度第1回利根川水系渇水対策連絡協議会幹事会 (春季定例会)の開催結果について(概要)

1. ダムの貯水状況・積雪状況と今後の見通し

首都圏の水ガメである利根川上流8ダムと鬼怒川上流3ダムの4月16日時点の貯水量は、表のとおりであり、利根川上流8ダム、鬼怒川上流3ダムともに平年を下回る状況です。

	貯水量(貯水率)	平年比	備 考
利根川上流8ダム (4月16日0時)	3億1,245万 ³ m ³ (68%)	96%	平年をやや下回る (H4~H23平均)
鬼怒川上流3ダム (4月16日0時)	1億4,940万 ³ m ³ (83%)	93%	平年をやや下回る (S60~H23平均)

今冬の利根川上流域の積雪状況は表のとおりです。

	積雪深 (平年比)	累加降雪量	備 考
奈良俣ダム地点 (4月16日9時)	101cm (177%)	1,390cm	積雪深は平年を上回る (H4~H23の4月第3半旬末平均値)
尾瀬沼地点 (4月12日9時)	228cm (112%)	1,693cm	積雪深は平年を上回る (S30~H23の4月第3半旬末平均値)

平成24年1月から3月までの降水量は表のとおりです。

	累加降水量	平年比	備 考
利根川栗橋上流域 (1月から3月)	215mm	約136%	平年を上回る (S23~H23平均)
鬼怒川佐貫上流域 (1月から3月)	188mm	約109%	平年を上回る (S47~H23平均)

利根川上流5ダム(矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、藺原)は、毎年4月から5月にかけて、融雪水により貯水量を大きく回復する時期となっており、例年では5月の中旬にほぼ満水となります。今年は例年に比べ、気温が低い日が続いたこともあり、融雪が遅れていますが、積雪深等は平年を上回っていることから、5ダムにおいては満水まで回復が予想されます。

しかし、今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足することも想定されます。

2. 今後の対策

①今後、本年の利根川上流域の積雪状況や降雨、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。

このため、上流ダム群の貯水量の状況や融雪状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。

②利根川水系渇水対策連絡協議会としては、首都圏の水需要をかんがみ、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

※ ダムの貯水量及び貯水率の情報を、電話応答サービスにより、リアルタイムに提供しています。どうぞご利用下さい。

・利根川上流8ダム	五十里ダム	電話番号	027-255-5692
	川治ダム	電話番号	0288-78-0440
・鬼怒川上流3ダム	川俣ダム	電話番号	0288-78-0908
		電話番号	0288-96-0288
・二瀬ダム		電話番号	0494-55-0116

※ ホームページでもダムの情報をお届けしています。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/index00000010.html>

(首都圏の水資源状況について)

利根川上流ダム群等の現況と今後の対策（案）について



奈良俣ダム(平成24年4月9日撮影)

平成24年4月17日

関東地方整備局

1. 利根川上流ダム群等の現況

1) 利根川水系

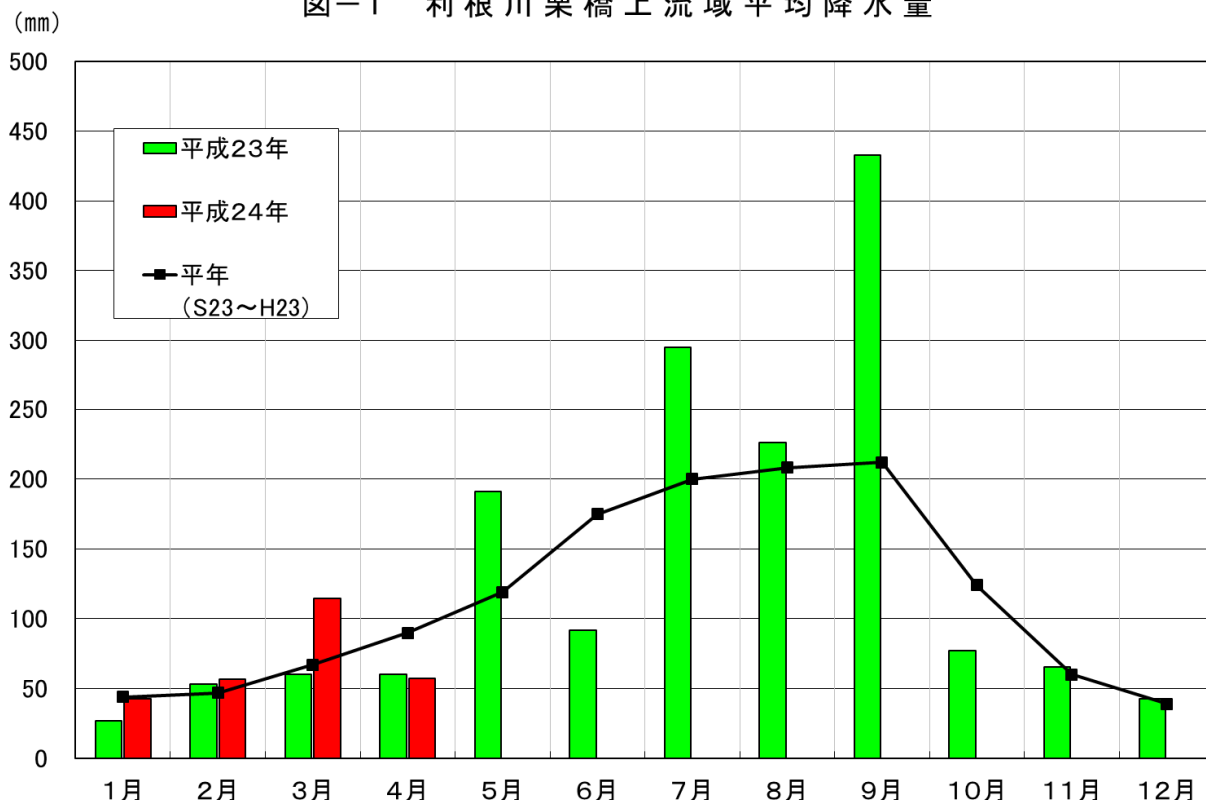
(1) 降水量

平成23年の利根川栗橋上流域の降水量は、水利用が多くなり始める4月（60mm、平年比67%）と6月（92mm、平年比53%）は平年を大きく下回りましたが、5月、7月及び9月は平年を大きく上回りました。特に、7月、9月は、台風によるもので、9月は、統計開始以降2番目に多い433mmを記録しました。

平成24年に入り、1月はほぼ平年並、2月、3月は平年を上回る降水量となっています。

4月の月降水量は、15日までで58mmとなっています。（図－1、表－1参照）

図－1 利根川栗橋上流域平均降水量



表－1 利根川栗橋上流域平均降水量

単位 (mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	〃
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	〃
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成23年	27	53	60	60	191	92	295	226	433	77	66	43	1,622	
平年 (S23~H23)	44	47	67	90	119	175	200	208	212	124	60	39	1,385	
平成24年	43	57	115	58									273	
平年比 (%)	98	121	171	64									20	

平成24年4月15日まで

※. 利根川取水制限実施月（一時緩和含む）

※. 栗橋上流域面積 8,588 km²

(2) 奈良俣ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪状況

奈良俣ダム地点は12月下旬頃に平年を大きく上回る積雪深となりましたが、1月下旬に一時平年を下回る積雪深となりました。2月以降は平年か平年を上回る積雪深となっており、4月に入っても平年を上回る状況となっています。一方、尾瀬沼地点は、12月下旬に平年を上回る積雪深となりましたが、その後1月から3月下旬まで平年を下回る積雪深となり、4月以降は、気温が低いこともあって、平年を上回る状況となっています。

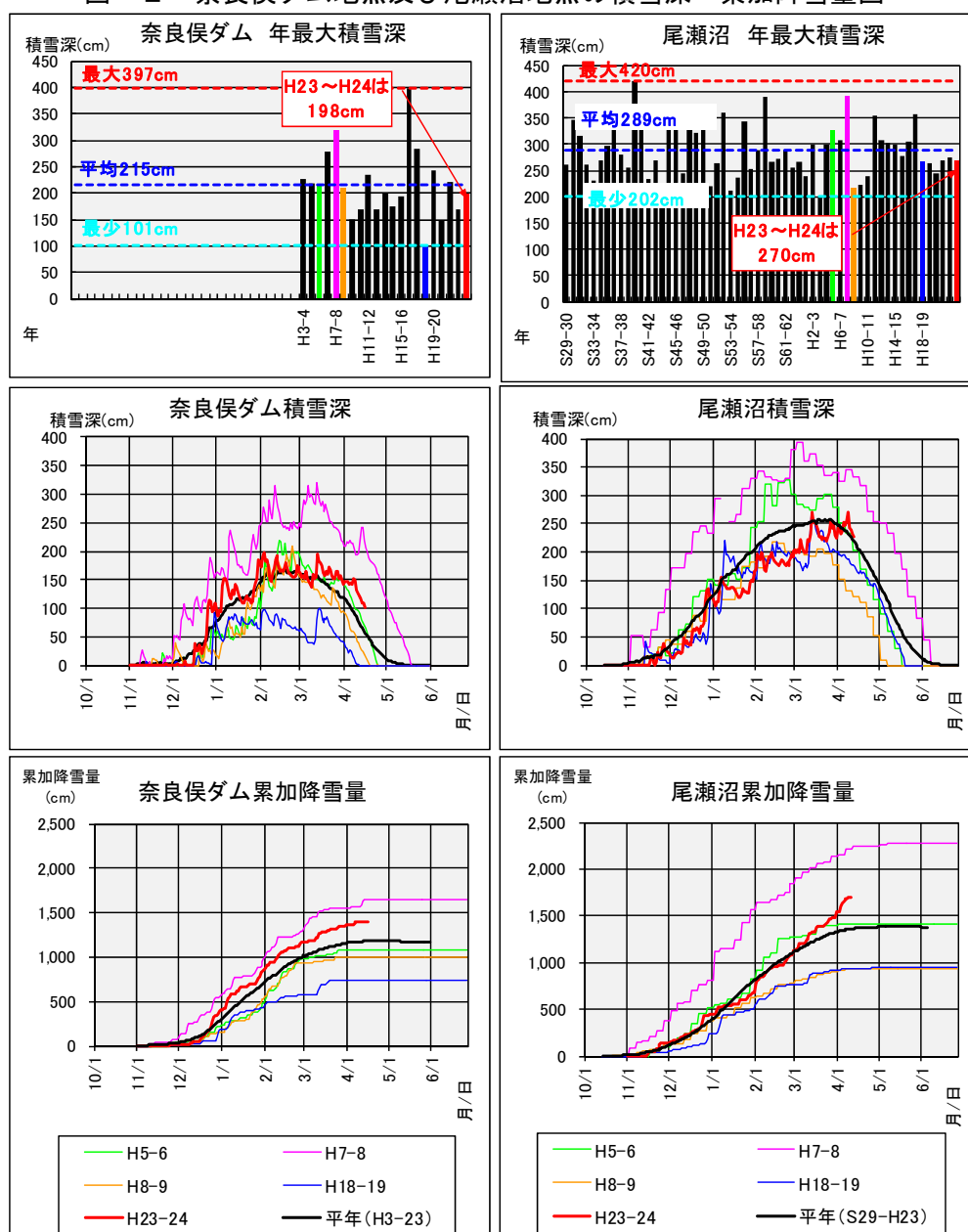
今期の最大積雪深は奈良俣ダム地点で198cm(2月3日)、尾瀬沼地点で270cm(3月13日)となっています。平成24年4月16日9時現在の奈良俣ダム地点の積雪深は101cm(平年の177%)、尾瀬沼地点では平成24年4月12日9時現在、228cm(平年の112%)となっています。(表-2、図-2参照)

表-2 奈良俣ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深・累加降雪量図

観測所名	時 点	日降雪量	積雪深	今期最大積雪	累加降雪量
奈良俣 ダム地点	平成24年4月16日9時現在	0cm	101cm	198cm(2月3日)	1,390cm
	H3~H23の4月第3半旬末平均値		57cm		1,178cm
尾瀬沼 地点※	平成24年4月12日9時現在	0cm	228cm	270cm(3月13日)	1,693cm
	S29~H23の4月第3半旬末平均値		204cm		1,368cm

※尾瀬沼の積雪深・累加降雪量については、4月12日以降欠測のため4月12日現在を表示

図-2 奈良俣ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪深・累加降雪量図

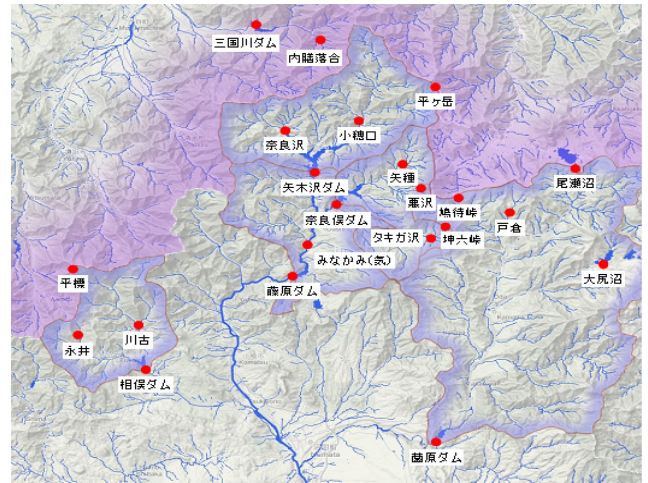


平成24年4月16日9時現在 ※過去のデータは半旬末の値

(3) 各観測所の積雪深の状況

奥利根流域の降雪は、平年に比べ低温傾向であることから、平年を上回る積雪深となっております。
(図－3、図－4参照)

図－3 積雪観測所位置図



図－4 各観測所の積雪深状況



平成24年4月16日現在

(4) 利根川上流ダム群の貯水状況

平成23年は、平年に比べ気温の低い日が続き融雪の遅れなどから貯水量の回復が遅れましたが、5月13日に5ダム（矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、藺原）は満水となり、8ダムでは、6月5日に4億1,570万 m^3 （貯水率90%、平年比102%）まで貯留しました。その後、少雨の影響により河川流況が悪化したことにより下流の水利利用等の確保の為補給を実施しましたが、新潟福島豪雨の降雨により夏期制限容量まで回復しました。

12月中旬以降は、無降雨期間の影響により河川流況が悪化したことから下流の水利利用等の確保の為、補給を実施するとともに、2月には、北千葉導水路を稼働させ、利根川から江戸川へ1,440万 m^3 （2月：1,295万 m^3 、3月：145万 m^3 ）の導水を行い水利利用等の確保に努めました。

平成24年4月16日0時現在の貯水量は、3億1,245万 m^3 （常時満水容量4億6,163万 m^3 に対して68%、平年の貯水量3億2,449万 m^3 に対して96%）と、平年をやや下回っています。

（表－3、図－5参照）

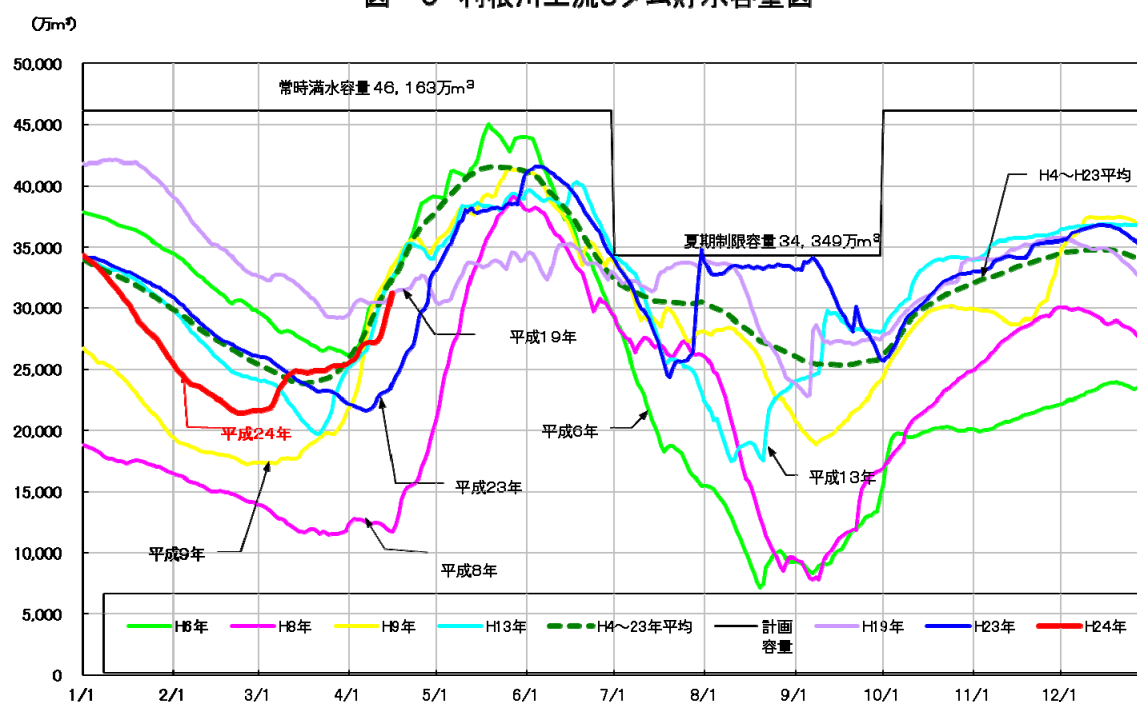
表－3 利根川上流8ダム貯水量

平成24年4月16日0時現在

ダム名	有効容量 (万 m^3)	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)	平年比 (%)
矢木沢ダム	11,550	7,411	64	-256	111
奈良俣ダム	8,500	5,778	68	-127	90
藤原ダム	3,101	2,035	66	-159	99
相俣ダム	2,000	1,501	75	-66	95
藺原ダム	1,322	649	49	-94	70
下久保ダム	12,000	7,521	63	-56	87
草木ダム	5,050	4,942	98	0	110
渡良瀬貯水池	2,640	1,408	53	-38	84
8ダム合計	46,163	31,245	68	-796	96

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）

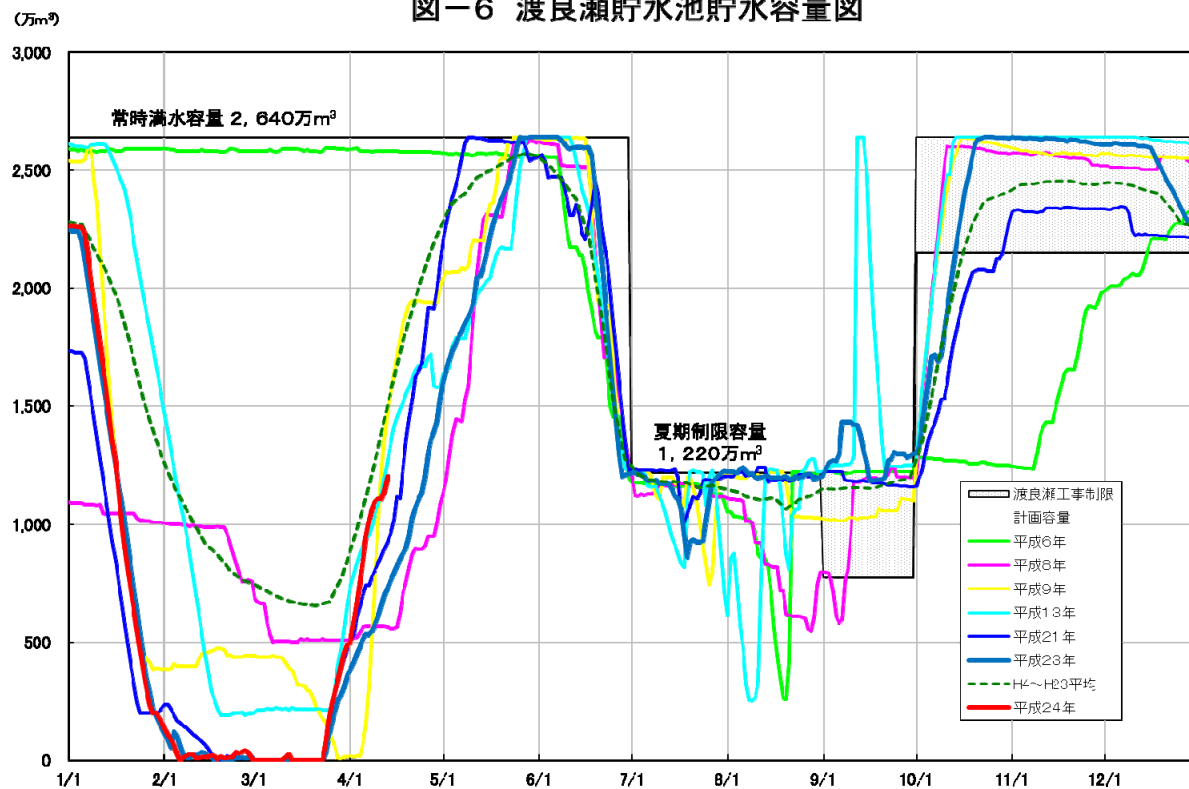
図－5 利根川上流8ダム貯水容量図



(5) 渡良瀬貯水池の現状

渡良瀬貯水池は水質改善等のため、平成9年から利根川の流況を見ながら「干し上げ」を行っています。今年も1月4日より補給も兼ねつつ水位を下げ干し上げを実施しました。平成24年4月16日0時現在の貯水量は、1,408万m³、常時満水容量2,640万m³に対して53%、平年の貯水量1,674万m³に対して84%と平年を下回っています。(図-6参照)

図-6 渡良瀬貯水池貯水容量図



2) 鬼怒川水系

(1) 降水量

平成23年の鬼怒川佐貫上流域の降水量は、かんがい期間である6月(96mm、平年比55%)と8月(191mm、平年比69%)は平年を大きく下回りましたが、9月は、台風等の影響から統計開始以降月最大となる721mmを記録しました。

平成24年に入り、1月、2月は平年を下回りましたが、3月は平年を上回る降水量となっています。

4月の月降水量は、15日までで59mmとなっています。(図-7、表-4参照)

図-7 鬼怒川佐貫上流域平均降水量

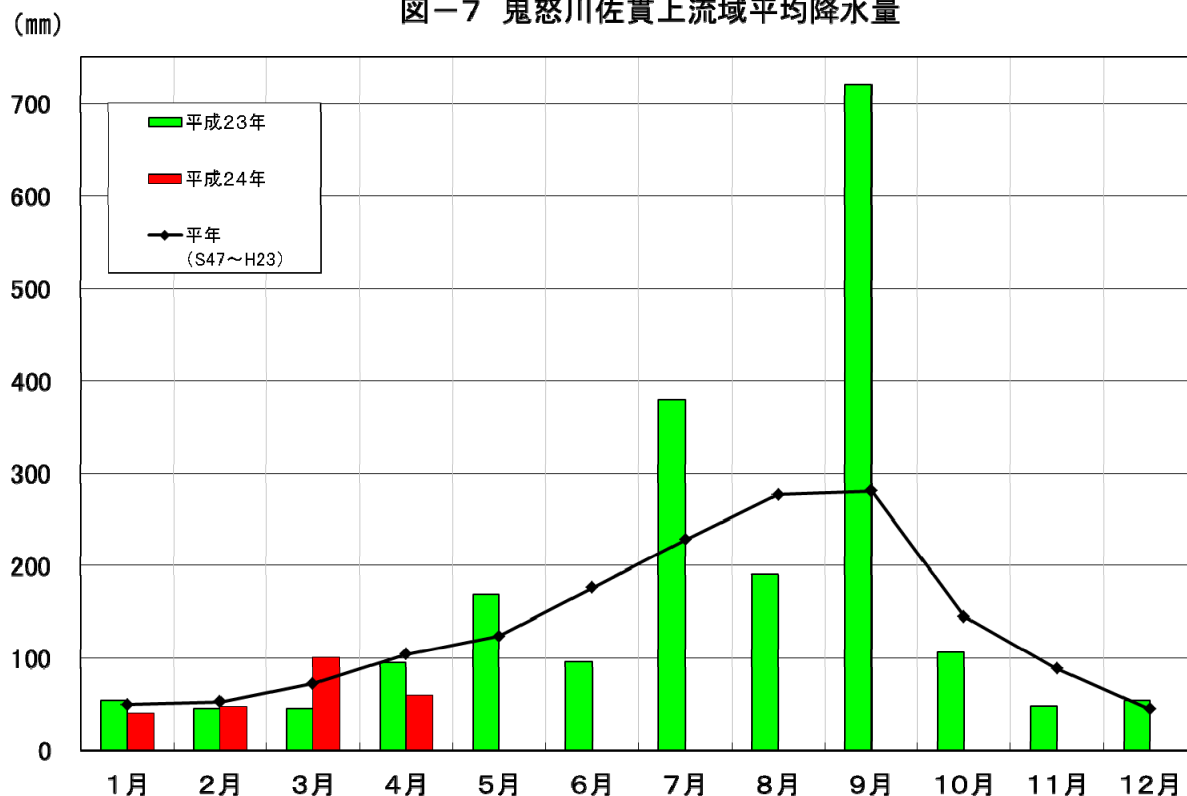


表-4 鬼怒川佐貫上流域平均降水量

単位(mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301	
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853	
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583	
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140	
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525	
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980	
平成23年	54	45	45	95	169	96	379	191	721	106	47	54	2,002	
平年 (S47-H23)	49	52	72	104	124	176	228	277	281	145	88	44	1,640	
平成24年	40	47	101	59									247	
平年比(%)	82	91	140	57									15	

平成24年4月15日まで

※. 鬼怒川佐貫上流域面積 940 km²

(2) 鬼怒川上流ダム群の貯水状況

平成23年の鬼怒川上流3ダムの貯水量は、2月まで貯水量を維持し3月に入って補給を行いました、融雪水の貯留に努め、4月25日に貯水量1億5,909万 m^3 （貯水率88%、平年比102%）に達しました。その後は下流の水利用等の確保の為補給を行いました、台風の影響により夏以降は平年を上回る貯水量で推移しました。

平成24年に入ってから、下流の水利用等の確保の為補給を行い貯水量がやや減少しましたが、3月の降水量や融雪水の貯留に努め、4月16日0時現在の貯水量は、1億4,940万 m^3 （常時満水容量に対して83%、平年の貯水量1億5,995万 m^3 に対して93%）となり、平年をやや下回っています。

（表－5、図－8参照）

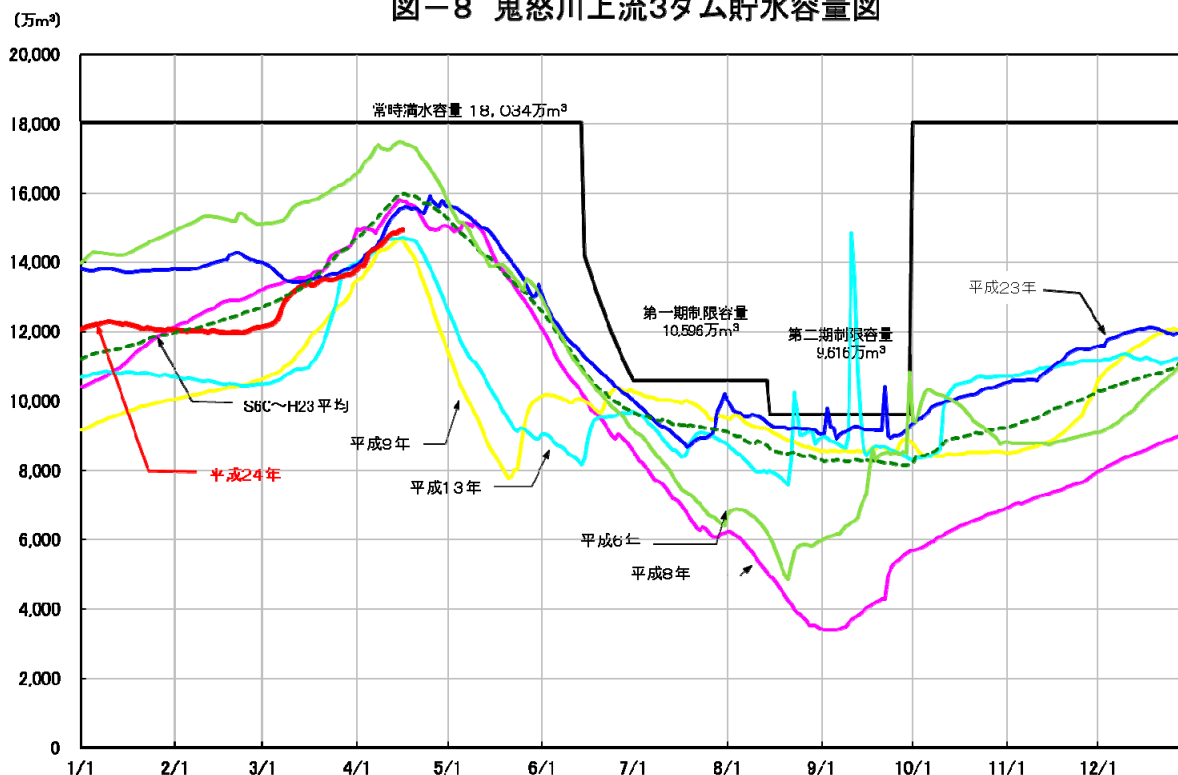
表－5 鬼怒川上流3ダム貯水量

平成24年4月16日0時現在

ダム名	有効容量 (万 m^3)	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)	平年比 (%)
五十里ダム	3,123	2,898	93	12	100
川俣ダム	7,311	5,724	78	13	80
川治ダム	7,600	6,318	83	-48	106
3ダム合計	18,034	14,940	83	-23	93

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）

図－8 鬼怒川上流3ダム貯水容量図



3) 荒川水系

(1) 降水量

平成23年の荒川秋ヶ瀬上流域の降水量は、1月にわずか1mmと統計期間で最も少ない降水量となりましたが、水需要の多くなる5月から9月においては、6月を除き平年を上回る降水量でした。

特に9月は台風12号及び15号の影響により平年の約2倍となる436mmの降水量となりました。10月、11月は平年を下回る降水量でしたが、12月から3月においては、平年を上回る降水量となっています。

4月の降水量は、15日までで61mmとなっています。(図-1、表-1参照)

(mm)

図-1 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量

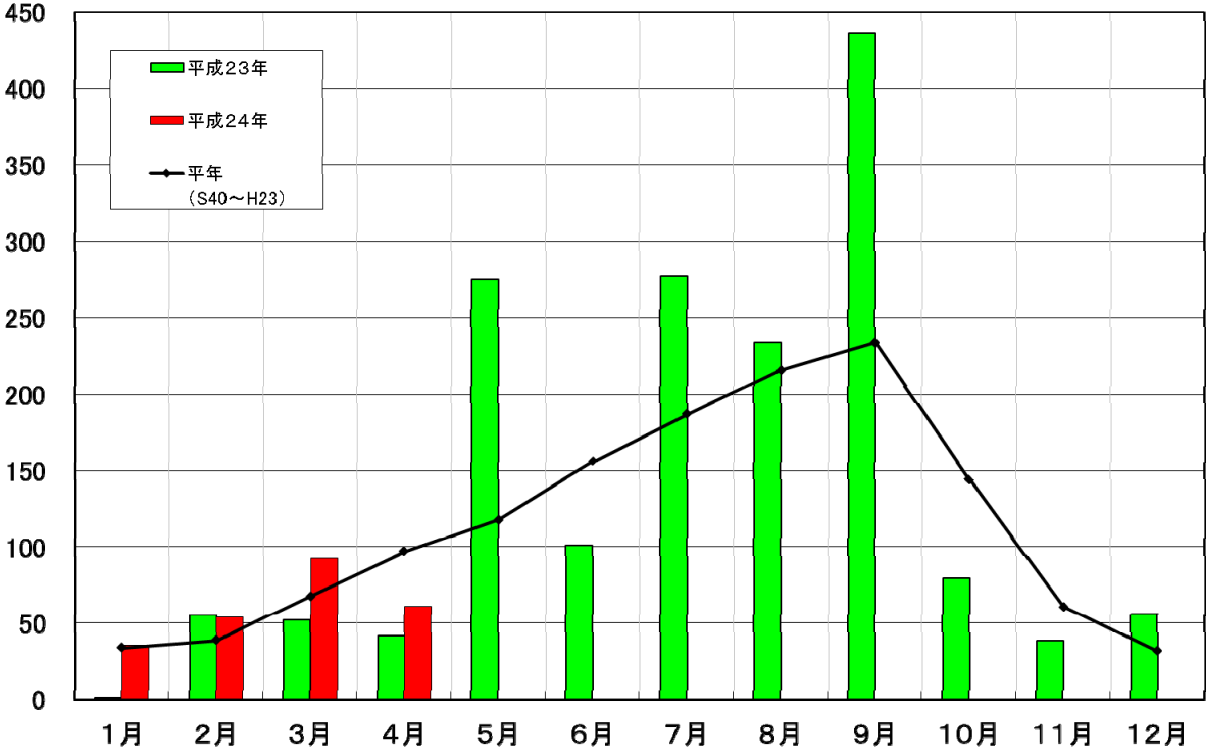


表-1 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量

単位 (mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成23年	1	55	52	42	275	101	277	234	436	80	39	56	1,648	
平年 (S40~H23)	35	39	68	97	118	156	187	216	234	144	61	32	1,387	
平成24年	36	54	93	61									244	
平年比 (%)	103	138	137	63									18	

平成24年4月15日まで

※. 荒川取水制限実施月 (一時緩和含む)

※. 秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km²

(2) 荒川ダム群の貯水状況

平成23年の荒川ダム群（二瀬ダム、滝沢ダム、浦山ダム、荒川調節池）は、5月31日に貯水量1億4,280万 m^3 、常時満水容量に対する貯水率72%に達し、その後、下流に補給を行いました。

7月以降は、夏期制限容量の確保と共に補給を実施し、10月以降は貯留に努めました。少雨や無降雨日の影響から補給・貯留を繰り返す運用となりました。

平成24年4月16日0時現在の貯水量は、1億5,330万 m^3 （常時満水容量1億4,420万 m^3 に対して73%、平年の貯水量6,526万 m^3 に対して161%）と平年を上回っています。（表－2、図－2参照）

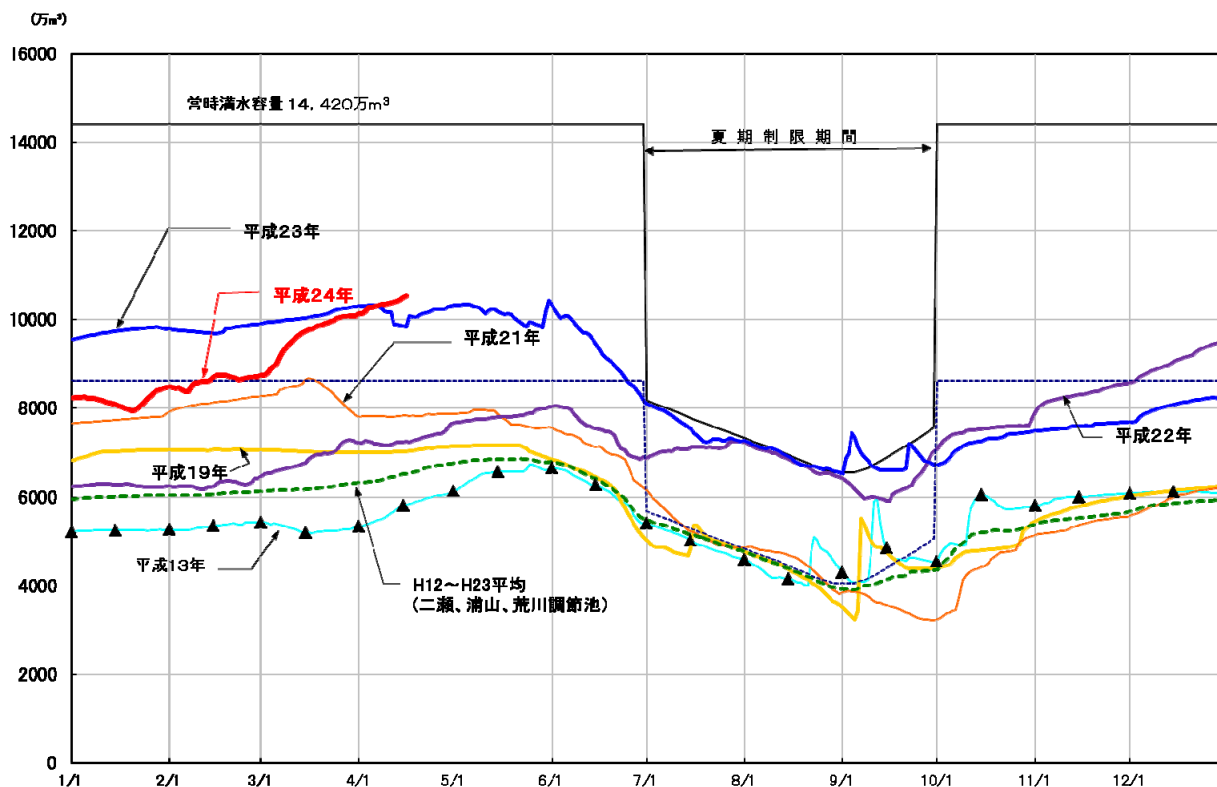
表－2 荒川4ダム貯水量

平成24年 4月16日0時現在

ダム名	有効容量 (万 m^3)	貯水量 (万 m^3)	貯水率 (%)	前日補給量 (万 m^3 /日)	平年比 (%)
二瀬ダム	2,000	1,733	87	7	116
滝沢ダム	5,800	3,701	64	－33	－
浦山ダム	5,600	4,079	73	－12	100
荒川貯水池	1,020	1,020	100	0	107
4ダム合計	14,420	10,533	73	－38	161

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い）
4. 4ダム合計の平年比は、二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池の平年貯水量の合計に対する割合。

図－2 荒川4ダム(二瀬、浦山、滝沢、荒川調節池)貯水容量図



4) 多摩川水系

(1) 降水量

平成23年の小河内ダム上流域の年間降水量は、1,999mm(平年比124%)となっています。
平成24年に入り、1月の降水量は42mm(平年比95%)とほぼ平年並みで、2月に87mm(平年比155%)、3月に119mm(平年比132%)と平年を大きく上回りました。
4月までの累加降水量は、16日までで327mmとなっています。(図-11、表-8参照)

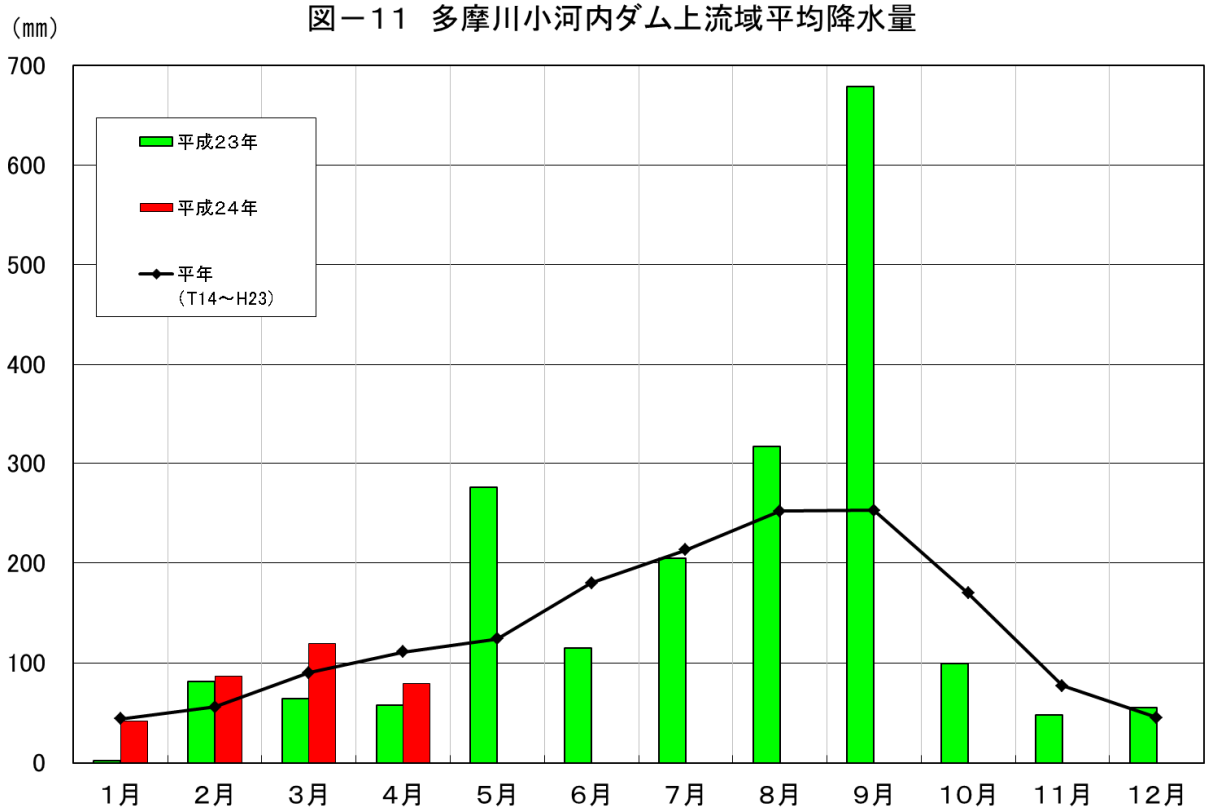


表-8 多摩川小河内ダム上流域降水量

	単位 (mm)												合 計	摘 要
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
平成23年	2	81	64	58	276	115	205	317	679	99	48	55	1,999	
平年 (T14-H23)	44	56	90	111	124	180	213	252	253	170	77	45	1,615	
平成24年	42	87	119	79									327	
平年比 (%)	95	155	132	71									20	

平成24年4月16日まで

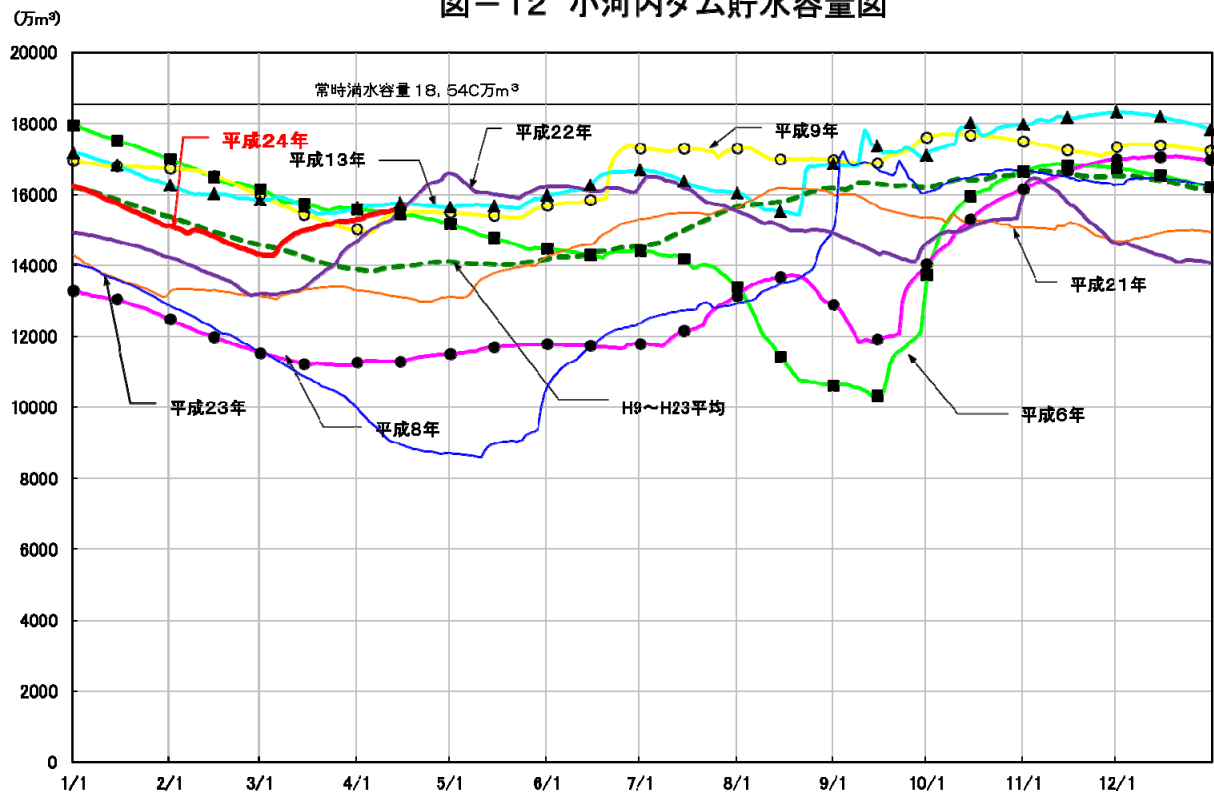
※. 端数処理の関係で、各月の和と合計値は一致しないことがあります。

※. 小河内上流域面積 262 km²

(2) 小河内ダムの貯水状況

4月16日7時現在の貯水量は、1億5,722万 m^3 、貯水率85%、平年比116%で平年を上回ってます。(図-12参照)

図-12 小河内ダム貯水容量図



2. 今後の見通し及び対策（案）

（１）見通し

- ①. 平成24年4月13日発表の気象庁の1か月予報によると、4月14日から5月13日の関東甲信地方の降水量については、「平年並」となっており、3月22日発表の気象庁の3か月予報によると、降水量は、5月、6月は「平年並」となっています。

1か月予報（平成24年4月13日発表）

【気温】関東甲信地方	40	40	20
【降水量】関東甲信地方	30	40	30
【日照時間】関東甲信地方	40	40	20

凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

3か月予報（平成24年3月22日発表）

[関東甲信地方]			
3か月	30	40	30
4月	30	40	30
5月	30	40	30
6月	30	40	30

凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

- ②. 利根川上流5ダム（矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、菌原）は、毎年4月から5月にかけて、融雪水により貯水量を大きく回復する時期となっており、例年では5月の中旬にほぼ満水となります。今年は例年に比べ、気温が低い日が続いたこともあり、融雪が遅れていますが、積雪深等は平年を上回っていることから、5ダムにおいては満水まで回復が予想されます。

しかし、今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足することも想定されます。

- ③. 鬼怒川上流3ダムの貯水量はほぼ平年並みの貯水量となっており、今後下流の農業用水等水需要に対して必要な水量を確保するためダムからの補給を行っていきますが、降雨状況によっては、貯水量が不足することも考えられます。

（２）対 策（案）

① [利根川水系における上流ダム群の貯水量の確保]

今後、本年の利根川上流域の融雪状況や降雨、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。

また、上流ダム群の貯水量の状況や積雪状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。

② [利根川水系渇水対策連絡協議会の取り組み]

利根川水系渇水対策連絡協議会としては、首都圏の水需要をかんがみ、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

3. 非洪水期における工事制限水位等について（1）

H24. 4 月現在

工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間												
				平成24年									平成25年			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利根川ダム統管	藤原ダム	藤原ダムクレストゲート改修工事	クレストゲート水密ゴム交換 クレストゲート開閉装置改修					工期 8月上旬					工期 26年3月下旬			
		制限貯水位 EL638.0m 制限期間 平成24年10月1日から平成25年2月20日														
	相俣ダム	相俣ダム法面工事	既設護岸、法面の補修					工期 10月上旬				工期 12月下旬				
		制限貯水位 EL550.0m 制限期間 平成24年10月1日から平成24年12月31日														
	菟原ダム	菟原ダム湖岸整備工事	環境整備箇所の盛土及び法面保護のため 護岸ブロック設置													
		制限貯水位 EL547.0m 制限期間 平成24年10月1日から平成25年2月28日														
鬼怒川ダム統管	川俣ダム	クレストゲート改修工事	クレストゲート改修工事に伴う台船発着 場設置工事及びクレストゲート改修工事 を実施する。													
		制限貯水位 EL965.0m～970.0m 制限期間 平成22年5月20日から平成24年7月31日														
	川治ダム	クレストゲート設備塗装工事	クレストゲートの塗り替え塗装工事を 実施する。													
		制限貯水位 EL600.0m 制限期間 平成24年10月1日から平成24年12月15日														

制限水位 - - - - -

3. 非洪水期における工事制限水位等について（2）

H24. 4 月現在

工事主体	ダム名	工事名	工事概要等	工事期間												
				平成24年									平成25年			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
水資源機構	矢木沢ダム	矢木沢ダム洪水吐きゲート整備工事	水密ゴムの交換							工期 10月上旬		12月中旬				
		制限貯水位 EL842.0m 制限期間 平成24年10月1日から平成24年11月5日		EL850.0m 115,500千m3						EL842.0m 80,444千m3	EL849.0m 110,810千m3	12/5				
	奈良俣ダム	奈良俣ダム表面取水ゲート工事	表面取水ゲートの中段扉の軸受けブッシュの取替及び主ローラーの整備							工期 10月上旬		11月中旬				
		制限貯水位 EL881.9m 制限期間 平成24年10月1日から平成24年11月15日		EL888.0m 85,000千m3			EL881.0m 72,000千m3			EL881.9m 73,574千m3	EL888.0m 85,000千m3	11/15				
	下久保ダム	非常用洪水吐設備工事	クレスト1号・2号の整備、塗替塗装							工期 7月上旬						3月下旬
		制限貯水位 EL282.8m 制限期間 平成24年10月1日から平成25年2月28日		EL296.8m 120,000千m3			EL283.8m 85,000千m3			EL282.8m 82,821千m3	EL296.8m 120,000千m3				2/28	
	草木ダム	貯水池法面保護工事	水位変動域における緑化基盤工事							工期 6月		10月				
		制限貯水位 EL437.0m 制限期間 平成24年9月1日から平成24年9月30日		EL454.0m 50,500千m3			EL440.6m 30,500千m3	EL437.0m 26,042千m3	9/1	9/30	EL454.0m 50,500千m3					

制限水位 - - - - -